

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 1 区分
 【発行日】平成 22 年 1 月 21 日 (2010.1.21)

【公表番号】特表 2009-542574 (P2009-542574A)
 【公表日】平成 21 年 12 月 3 日 (2009.12.3)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-048
 【出願番号】特願 2009-518909 (P2009-518909)
 【国際特許分類】

C 0 1 B 21/082 (2006.01)

【 F I 】

C 0 1 B 21/082 K

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 11 月 19 日 (2009.11.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

非金属ロダン化物が熱分解されて窒化炭素材料を与えることを特徴とする、窒化炭素材料の製造方法。

【請求項 2】

非金属ロダン化物はロダン化アンモニウムであることを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

熱分解は真空化条件で行われることを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

圧力は $10^{-1} \sim 10^{-9}$ mmHg であることを特徴とする、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

熱分解は不活性ガス雰囲気下で行われることを特徴とする、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

不活性ガス雰囲気は窒素を含むことを特徴とする、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

不活性ガス雰囲気はアルゴンを含むことを特徴とする、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

熱分解は T_{max} 850、 T_{min} 周囲温度の勾配で行われることを特徴とする、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 9】

熱分解は T_{max} 650、 T_{min} 周囲温度の勾配で行われることを特徴とする、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 10】

熱分解は T_{max} 500、 T_{min} 周囲温度の勾配で行われることを特徴とする、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 11】

窒化炭素材料は C_3N_4 の化学式を有することを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

窒化炭素材料は黒鉛状構造を有することを特徴とする、請求項 1 又は 11 に記載の方法

。

【請求項 1 3】

窒化炭素材料は、製造される窒化炭素材料が痕跡量のイオウを含まない方法で製造されることを特徴とする、請求項 1 ～ 1 2 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 1 4】

窒化炭素材料は、製造される窒化炭素材料が、炭素、窒素、及び水素以外の他の元素を含まない方法で製造されることを特徴とする、請求項 1 ～ 1 3 のいずれか 1 項に記載の方法。